日本共産党区議会議員
JapaneseCommunistParty
安藤たい作
区政報告　ニュース　第33号

「広げよう青年の願いの輪 さぁ、そろそろ選挙に行こう～かえるネット大集会」に参加。参院選比例予定候補の谷川智行さんが「薬も治療法もあるのにお金のあるなしで医療にかかれるかが決まる。そんな国はおかしい」と政治を志す動機を語り共感させられました

格差広げる政策に手を貸す自民・民主・公明議員。納得いきません！

定率減税廃止等による住民税増税、連動した国保料等の値上げに悲鳴が上がっています。6月25日に行われた区民委員会に、区民の皆さんから出された「住民税・国保料の軽減を求める請願」がかかり、この問題に関して質疑が行われました。

否定できない「増税」という事実

請願は①住民税の増税分を元に戻すための措置②低所得者への減免策③国保料の引き下げ④低所得者への減免措置、を区に求めており、同様の内容で９名の方から出されたものです。

政府はあれこれの広報媒体で「税源移譲によるもので、増税ではない」と繰り返していますが、定率減税の全廃分は確実に増税になります。その上、住民税額に関わって算出される国保料・介護保険料・シルバーパス・都営住宅家賃・介護施設利用に関わる費用に少なくとも影響してくる・・と委員会内での区側答弁でも明らかになりました。

「これは増税でない」繰り返す区・他会派

「増税ではない」という説明が区民に通用すると思っているのでしょうか。

ところが委員会での請願質疑にあたり、区民生活への影響をただす立場で質問したのは私を含む共産党区議だけ。わざわざ当日出された政府広報を示し「増税ではないわけですよね？」と迫ったり、連日区役所へ寄せられる問い合わせに対し「数字だけが一人歩きしている。全て苦情とは限らない」などとわざわざ述べる自民議員。「国が決めたことだから。（自分は）地域で広報マンになって頑張りたい」と述べる無所属議員も。共産党以外の全ての議員の反対でこの請願は当日否決されてしまいました。

なんと一方では大金持ち減税条例が可決

納得いかないのはこの請願審議の前段の条例審査の中で、株式譲渡所得と配当収入に対する減税（半減！）措置を一年延長する条例が可決されていた、ということです。国の資料でも、株式譲渡益を得た人のうち３・８％にしか過ぎない７５２５人のお金持ちが譲渡所得総額のうちの６割以上を占めます。一部の株をやる高額所得者に恩恵を与える「大金持ち減税」は通しておきながら、庶民の家計に恩恵を与える定率減税の廃止は当然視。こうした税制のあり方を進める政党や行政のあり方こそが「格差や貧困」の拡大に拍車をかけているといえます。

漫画：安藤たい作

安藤たい作プロフィール　’74年　宮城県仙台市生まれ33歳。’97年　国立宮城教育大卒。’98年　漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。’02年　青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。４年の派遣労働経験を経て’06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し２期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める使途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。